

第21回男子アジア選手権

開催日	2024年1月18日	会場	HALIFA SPORTS CITY HALL		
試合	メインラウンド				
チーム名	スコア				チーム名
日 本	25	11	前半	12	23
		14	後半	11	
イラン					

No.	名前	得点	戦況
1	中村 匠	0	<p>メインラウンド1戦目の相手はイラン代表。前回大会では4位。世界選手権2023にも出場。</p> <p>今大会は現在ブンデスリーガに所属している選手を招集するなど強化を進めてきた印象。</p> <p>日本はプレーメーカーに安平、部井久と渡部がバックコート、サイドに杉岡と元木、ポストに吉田の布陣。</p> <p>守備はGKに中村、トップDFに部井久、センターDFに笠原、2枚目DFに渡部と吉田、1枚目DFに元木と杉岡を配置した「5-1DF」でゲームスタート。</p> <p>試合開始、イランはブンデスリーガでプレーする7番Pouya Norouzzinejad (VfL Eintracht Hagen) を中心に攻撃を組み立ていく。前半8分、ラフプレーによりイラン31番がレッドカード。しかし、このプレーによって安平が負傷交代。</p> <p>怪我のためチームへの合流が遅れていたキャプテン東江が今大会初出場。東江のリードから攻撃を展開するものの、チャンスを相手GKに好セーブされてしまい我慢の時間が続く。</p> <p>前半25分過ぎから、数的有意時の東江のブレイクスルー、吉田のポストシュート、東江と吉田のコンビネーションプレーで3連続得点。前半は11対12で終了。</p> <p>後半開始早々に日本はディフェンスシステムを「6-0DF」に変更。髙谷が7MTを決めるなどして加点するが流れを引き寄せることができない。後半10分にタイムアウトを請求。7人攻撃を仕掛けることで意思統一。ゲームメーカーは北詰。これが奏功し徐々にリズムを日本に引き寄せる。</p> <p>また、GK坂井を中心とした日本の機動力を生かした「6-0DF」が機能し始める。後半16分過ぎからは、元木のサイドシュート、北詰と笠原のコンビネーション、髙谷の7MT、元木のサイドシュートで4連取。後半20分で22対21の1点リード。後半残り5分で再び東江を投入。直後にブレイクスルーを決める。</p> <p>残り2分、7人攻撃から部井久がミドルシュートを決めて25対23。最後はGK坂井がサイドシュートとディスタンスシュートを連続セーブして試合終了。</p>
2	安平 光佑	1	
7	髙谷 大雅	3	
9	杉岡 尚樹	1	
13	吉田 守一	2	
15	部井久アダム勇樹	5	
17	坂井 幹	0	
19	徳田 新之助	0	
20	渡部 仁	3	
24	北詰 明未	1	
25	元木 博紀	6	
27	玉川 裕康	0	
33	東江 雄斗	2	
40	富永 聖也	0	
44	高野 颯太	0	
74	笠原 謙哉	1	